

国際シンポジウム

“栄養とアルツハイマー病に関する 国際シンポジウム”

栄養習慣を是正することで痴呆が防止できるのでしょうか？

日本において初めて痴呆の患者さんを対象とした3年にわたる詳細な栄養習慣等の調査が行われその結果が海外に大きく評価されました。国際的にも栄養習慣は痴呆の発現に大きく関わっていることが発表されています。本シンポジウムでは国内外のアルツハイマー病、糖尿病の専門医、臨床栄養研究者が一同に集まり世界最先端の情報を共有いたします2日間最新知見満載のシンポジウムです。同時通訳つきです。

【日時】平成16年10月1日（金）・2日（土）

【会場】新高輪プリンスホテル（最寄駅 JR品川駅）

本シンポジウム会長 自治医科大学大宮医療センター 神経内科 教授

植木彰